

TOPIC
2

【議第84号】天草市水道事業給水条例等の一部を改正する条例の制定について
令和8年4月請求分から上水道料金及び下水道使用料金を改定

市民生活委員会付託

人口減少や節水機器の普及などによる料金収入の減少や上下水道施設の計画的な更新・統合による安心・安全な水の安定提供と、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全及び豊かな自然環境を持続するため、天草市上下水道事業運営審議会を設置し、協議・検討してきましたが、「両事業を持続可能とするためにも料金の改定はやむを得ない」との答申を踏まえ、令和8年4月請求分（令和8年2月から3月の検針分）から料金を改定します。

また、使用者の負担を軽減するため、令和8年4月請求分から令和9年3月請求分までの1年間は特例期間を設け、改定する率の2分の1の負担となります。

問 賃金引上げの状況や物価高騰が続いた場合など、今後の状況次第で特例期間の延長はできないのか。

答 次回の天草市上下水道事業運営審議会での意見を踏まえ、資金面などの状況を確認した上で、まずは執行部内で協議したい。

問 水道料金等の改定についての説明会を開催する予定はあるのか。

答 10月から開催の市民ふれあい座談会にて、料金改定の説明も行う。そのほか、地区から要望があれば別途開催したい。

意見書を国へ提出しました

市民生活委員会では、老朽化した上下水道施設の維持管理や更新にあたり、市民の負担増加にも限界があるなど、上下水道事業者が単独で対応することは非常に困難な状況と判断し、国に支援制度の創設や財政支援等を要望する「上下水道事業に対する財政支援の強化等を求める意見書」の提出を9月25日の本会議に提案しました。本会議では、全会一致で可決され、同日、衆・参両議院議長や内閣総理大臣など関係大臣に意見書を提出しました。

料金例（月額）

1世帯3人家族の場合

	R8年4月～R9年3月請求分	R9年4月請求分～
現行料金	特例（激変緩和措置）	新料金
・水道料金 4,708円	・水道料金 5,339円	・水道料金 5,962円
・下水道使用料 3,740円	・下水道使用料 4,224円	・下水道使用料 4,884円
合計 8,448円	合計 9,563円	合計 10,846円
	現行料金から 1,115円 負担増	現行料金から 2,398円 負担増

改定の時期	令和7年度 年 月 R7.4月～R8.3月	令和8年度 年 月 R8.4月～R9.3月	令和9年度 年 月 R9.4月～
料 金	現行料金	特例料金	新料金
検 針 日		4月請求 2/15～3/14	4月請求 2/15～3/14
	特例（激変緩和措置） R8.4月～R9.3月 特例料金で請求 （改定率の2分の1の率で請求） ▶水道料金 +13.055% ▶下水道使用料 +15.00%		新料金 R9.4月～ 新料金で請求 ▶水道料金 +26.11% ▶下水道使用料 +30.00%



TOPIC
3

【議第110号～111号】新合財産区管理委員の選任について
新合財産区管理委員の人事案件2件に同意

欠員に伴う財産区管理委員の選任を求める議案2件が提出され、すべて原案どおり同意しました。

氏 名	住 所	新任・再任
仁田 輝雄 氏 に た くぼ てるお	河 浦 町	新 任
柿本 親志 氏 かきもと ちかし	河 浦 町	新 任

Topics

こんなことを話し合い
決めました

令和7年
第4回定例会

令和7年第4回定例会を9月2日（火）から9月25日（木）までの24日間の会期で行いました。

条例の改正や補正予算、決算などの議案が提出され、審査・審議の結果、すべて原案どおり承認・可決・認定・同意しました。

今号では、議案の中から4件を紹介します。

今回の議案等は44件

- 報告…………… 3件
- 承認…………… 2件
- 条例…………… 9件
- その他の議決事項…………… 5件
- 予算…………… 7件
- 決算…………… 12件
- 人事…………… 2件
- 議員提出…………… 2件
- 議員提出(継続審査) …… 1件
- 請願…………… 1件



TOPIC
1

【議第82号】天草市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

河浦病院の療養病床を廃止し、一般病床50床へ

教育厚生委員会付託

河浦病院では人口減少に伴う社会構造等の変化により、入院早期から在宅復帰に向けた支援体制とするため、令和7年9月30日から療養病床を廃止し、一般病床50床へ見直します。

改正内容

■病床の転換

病床区分	病床数
一般病床	31床
療養病床	35床

改正後

病床区分	病床数
一般病床	50床

問 在宅医療を支える体制の拡充は。

答 河浦病院では、すでに出かける医療として訪問診療や訪問看護等を実施している。令和7年3月には、オンライン診療車による診療を開始した。今後も出かける医療に力を入れていきたい。

問 病床削減により、入院できなくなることはないか。

答 これまでの入院患者の推移を考慮した見直しであり、支障はないと判断している。

